



平成24年3月30日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ  
代表者名 代表取締役社長 廣 谷 彰 彦  
(JASDAQ・コード番号2498)  
問合せ先 取 締 役 平 山 光 信  
経営管理本部長  
TEL 03-6311-6641

## 港区でコミュニティバスのEV（電気自動車）化実証事業の実施

(子会社：株式会社オリエンタルコンサルタンツ)

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツは、環境省の「平成24年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」に株式会社東芝と共同で応募し、採択され、東京都港区でコミュニティバスを「EV化する」実証事業に取り組むことについて、添付のとおりプレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。

以 上

平成 24 年 3 月 30 日

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
代表取締役社長 野崎 秀則

## 港区でコミュニティバスのEV（電気自動車）化実証事業を実施 ～環境省「平成 24 年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」に採択されました～

当社は、既往のコミュニティバスを「EV化する」実証事業に取り組むことについて、環境省の「平成 24 年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」※に株式会社東芝と共同で応募し、採択されました。

※環境省が、早期に実用化が必要かつ可能なエネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制する技術の開発及び実証研究について、民間企業等からの提案を募集し、外部専門家からなる評価委員会において選定した事業を委託するものです。

今回の実証事業では、東京都港区で運行している、コミュニティバス「ちいばす」の路線を活用して、株式会社東芝が開発した二次電池「SCiB」、定置用蓄電池「スマートバッテリー」と当社が検討、構築する交通運用プランなどにより、バス事業者が導入しやすいEVバスのソリューションの検証を行います。

当社では、公共交通の弱体化、住民等の公平なモビリティを確保出来ないこと、さらに地球温暖化対策の必要性など、複雑化する「モビリティ」の問題を『スマートコミュニティ』の実現に向けた課題の一つととらえ、解決に取り組み実社会への具体的な貢献に努めます。

特に、

- ①低炭素型公共交通の普及を図るためのEV等の技術特性に応じた交通運用プランの構築
  - ②低炭素型公共交通を円滑かつ効果的に運用するための道路などの都市空間設計、インフラ建設
  - ③低炭素型公共交通の持続性を高めるための公共交通の優遇や良好な資源循環等の制度設計
- などに着眼し、優れた技術を保有する異業種企業等との連携を深めつつ、国内外での交通ソリューション事業、スマートコミュニティ創造事業の拡大を図って参ります。

### 【事業概要】

- ・事業名称：EVバス早期普及に向けた長寿命電池による5分間充電運行と電池リユースの実証研究
- ・実施場所：東京都港区のコミュニティバス「ちいばす」の路線
- ・実証主旨：①低炭素型公共交通として、コスト面を含め、社会実装が可能なEVバスであることを実証する  
：②出力不足となった蓄電池をリユースし、定置用蓄電池「スマートバッテリー」の実用性を実証する
- ・実施期間：平成24～26年度までの3ヵ年（予定）
- ・共同実施者：株式会社 東芝  
（急速充電、長寿命、低温動作等特性に優れる二次電池「SCiB」の応用及び実証）

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
URL: <http://www.oriconsul.com/>  
本社・統括本部 三百田、伊藤

【参考補足資料】

1. 東京都港区「ちいばす」



2. 株式会社 東芝製 二次電池「SCiB」  
(急速充電、長寿命、低温動作特性に優れた二次電池)

